



第58号
平成23年8月18日発行
発行
広島県立障害者
リハビリテーションセンター
肢体不自由児施設園
若重心身障害児施設園
若草療育園
東広島市西条町田口295-3
TEL (082) 425-1455
印刷所
ワークホーム 聖恵
竹原市忠海中町三丁目16番1号
TEL (0846) 26-1002

療育における看護師の役割とは

広島県立障害者リハビリテーションセンター
 肢体不自由児施設若草園病棟看護師長 古賀慶子



肢体不自由児施設若草園病棟に異動になって二年目に入りました。思えば昨年の四月は師長としての病棟勤務は初めてとい

の業務や細かいことがかなり変わっていたことも大きなストレスになっていましたが、そんな私を何とか前向きにさせてくれたのが、園児たちの笑顔でした。そして、今までの看護師歴の中で一番季節の移り変わりをより強く感じる事ができたのも、楽しく働けている要因だと思います。

うこともあり緊張の毎日でした。日々、まわりのスタッフに大変助けていただきあつという間に一年が過ぎました。感謝申し上げます。また、この場を借りて、この度東日本大震災に被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

私は看護師歴三十四年ですが、そのほとんどが成人看護であり、重心看護に携わったのはわずか四年間だけです。手術室に長くいたせい、病棟

桜咲く四月には入学式や始業式、六月にはバーベキュー、熱い夏七月には七夕会や盆踊りの夕べ、九月にはそうめん流し、食欲の秋十月は修学旅行、晩秋の十一月は文化祭、十二月は変なサンタクロースがやってくるクリスマス会、そして年度終わりの三月はちよつときみしい卒業式と、学校や園の行事によって季節がめぐって行くのをこれほど感じた一年はありませんでした。一日一日を精一杯頑張っている園児に負けてはいられないと自然と

力が沸いてきたのでしょうか。

そして、何より三月の職員人事異動時のお別れ会で園児と職員の「絆」を目にして、涙がこぼれました。園児の泣き崩れる姿を見て、健常な子供たち以上に感受性の豊かさを見せ付けられ、一緒に生活を共にしている家族のように信頼をしてくれているんだと感激させられました。職員の頑張るりもすばらしいものがあると思います。

病院のような入院機能とは違い、施設という療育の中における看護師の役割とは何でしょうか。施設に入園している園児は、一人ひとり障害の程度が違います。身体的機能障害もあれば知的障害もありその程度も一人ひとりさまざまです。施設の中のいろいろな職種が、専門分野において、一人ひとりの全体像をしっかりと見つけ、情報を共有しながら、もてる力をすべて発揮できるよう、そして少しでも成長を促すように働きかけることが療育だと思います。ナイチンゲールは、「看護とは、生命力の消耗を最小にするよう生活過程を整えること」「人間はよく生まれ、よく育まれ、よく働くようにつくられている」「健康とは、よい状態をさすだけではなく、持てる力を最大限に活用している状態をさす」と言っています。ナイチンゲールの言葉を借りるなら、「療育とは、持てる力を最大限に活用している状態を支えていくこと」だと思います。その中で看護師の役割とは、園児との絆を築く中で、さまざまな環境を整え健康を維持していき、力を発揮していくお手伝いをしていくことだと認識し、これからも園児たちの健康増進に向けて努力していきたいと思えます。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

保護者の広場

「親の思い」



久安 顕三朗

ようになりました。

園には実に多くのスタッフの方がいらっしゃると思います。先生・看護師の医療スタッフの方々、理学・作業療法士のリハビリ関係の方々、また生活全般をサポート頂く育成課の方々等、多くの方々の献身的なご活動により、子ども達が安心して生活出来、園が安全に運営されていることが次第に分かるようになりました。子ども達にとってスタッフの方々には園の人であると同時に、時にお父さん、お母さん、お兄さん、お姉さんでもあるように感じます。学校へ行く時には『いつてらっしゃい』、帰ってくる時『お帰りなさい』と家族のように、笑顔で明るく声を掛けて頂きます。息子も時に気分が沈みがちでしたが、スタッフの方々の「笑顔」には随分と助けられたように思います。実際、最初は中々自分の思いを伝えられませんでした。今では気軽にスタッフの方とやりとりしています。勿論、私達が知りえないご苦労があるとは存じますが、それを表に出さず、笑顔で息子に接して頂く度、いつも頭が下がる思いとともに感謝の念を改めて覚える次第です。また園内の子ども達も、例えば息子が手術に向かう時には「頑張つて!」、帰つて来ると「頑張つたね! おめでとう!」と我が事のように喜んでくれます。こうした姿を見る度に、まるで『若草園』がひとつの大きな家族であるように感じられます。この「笑顔」と「家族感」があるからこそ、出会う子ども達はみんな、のびのびと笑顔で明るいのでしょう。今後、新たに入園される子ども達、そのご家族も、当初は不安を抱えて入つて来られることと思います。けれども、私達家族がそうであったように、若草園の「笑顔」と「家族感」は、きっと彼等彼女達の不安を和らげ、笑顔に変えてくれることと信じております。

最後になりますが、志村先生を始めスタッフの皆様にはいつも息子がお世話になり、この場を借りて日頃のお礼を述べさせて頂きます。また今後の『若草園』のご発展を祈念致しております。以上、私達の『親の思い』とさせていただきます。

いたよりも大掛かりなものであることに、正直戸惑いました。何より手術自体の心配に加え、一〇歳で親元・家族（兄が一人）を離れての生活に本人が耐えられるのか、ということが私達夫婦の悩みでした。しかし生来負けん気も強く、また自分の為と納得もしたのでしよう、本人も入院を承知してくれました。いずれにしても息子の為であると私達自身も気持ち固め、入院・入園をお願いする事となりました。

その後、園での生活の説明を受け、必要な準備物を揃え、本人は小学校で壮行会を開いて頂き、クラスの友達全員が折ってくれた千羽鶴を持つての入院となりました。平成二十二年十一月二十二日入院。手術前後は、手術自体の経過に心を奪われましたが、日が経つにつれ徐々にこれからお世話になる生活の場としての『若草園』に目が向く

私達の息子は生来成長ホルモンの分泌に難があり、医療補助として成長ホルモンの投与を幼児の頃より続けておりますが、現在一〇歳としては小さく華奢です。また身体の左右でも発育差があり、左半身、特に左足が右足に比べて成長が遅く、その診察・経過観察で幼少時より当広島県立リハビリテーションセンターにお世話になって来ました。

そうした中、昨平成二十二年春に、先生より外科的処置による左足の長さの矯正をご提案頂きました。当初先生からお話を伺う中で驚いたのは、入院期間の長さでした。手術後療養よりハビリを含めて、長くて一八か月程度、その間『若草園』という病院付属施設で生活を行うこと、小学校も園内隣接の『西条特別支援学校』へ転校の形で編入すること等、私達が当初予想して

新1年生の紹介 (小・中・高等部)

若草園



小学部一年生
ヘルタン・アキシャーレン・セロへさん

お手伝いが上手で、お散歩が大好きなおてんば娘です。最近
は上級生との生活の中でも成長しています。



中学部一年生
中山 萌さん

理科と体育が好きで、特に実験は大好きです。苦手な物は、
魚、虫、野菜です。これからもよろしくお願いします。



中学部一年生
田部 彩奈さん

好きな教科は音楽で、苦手な教科は多いのですが、その中で
も数学です。「嵐」の大ファンです。中学生になったので、もっ
と勉強を頑張ります。



中学部一年生
西尾 愛華さん

絵を描くことが好きで、好きな教科は美術です。将来の夢は
学校の先生になることです。中学校になって勉強が大変だと思
っています。これからも頑張っていきます。



中学部一年生
石川 創太さん

四月から中学部に入学した石川創太です。好きな教科は体育で、
学校生活もとても楽しいです。今一番してみたいことは、「AK
Bの板野chan」に会うことです。よろしくお願いします。



高等部一年生
眞鍋 命菜さん

私は、「嵐の松本潤」が大好きでDVDのボックスを全部集
めてコンサートに行くことが夢です。



高等部一年生
小林 大一郎さん

本が大好きで気に入った物があると教えてくれます。AKB
や嵐の音楽でノリノリ！ 静かな場所でも「大ちゃん」が来る
と、とてもにぎやかになるムードメーカーです。



高等部一年生
今井 優希さん

好き嫌いがなくご飯を食べます。でも冷たいものは苦手です。
いつもは、静かで、存在感がある若草園の親分！



高等部一年生
山本 春菜さん

春ちゃん高等部入学おめでとう。新しい先生、新しい環境での出発。とても
心配していたけれど、良い意味での親の心子知らずで、すぐに先生達にも慣れ
ましたね。この調子で色んな人とたくさん触れあつて、いい顔を見せてね。

若草療育園



小学部一年生
太田 直希さん

平成十六年九月八日二五八〇gで産まれてきました。たくさ
んの方の愛情と力を受けて、大きくなりました。今年小学一年
生。直君、おめでとう！



中学部一年生
河上 京介さん

皆さんはじめまして。今年中学一年生になりました河上京介です。早いもの
で、療育園に来て六年になりました。体力をつけて、家族で散歩をしたり、お
風呂にも入れたらいいなと思っています。これからもよろしくお願いします。



中学部一年生
清中 達也さん

達也、中学部入学おめでとう。先生、友達との絆を深め、た
くさんの経験をして下さい。家族みんなが達也の笑顔を沢山見
られるよう応援しています。
(母 清中千奈美)

ボランティア紹介 (敬称略)

日頃より若草園・若草療育園の行事参加・個別支援・入園児者の関わり・学習
指導・環境美化などボランティアの皆さまに支えられ感謝申し上げます。
これからもよろしく願いいたします。(4月～6月分 協力していただいた方)

(行事(ハーベキュー))

幾田奉文 金本素羅
金本有梨加 金本直輝

大段彩夏 浅枝美千世
藤谷友紀 川崎正江

貫名照美 菊地重子
岩広奈奈美 中居智美

西鶴有美 寺本教佐
平野美子 横山富士子

堀川美樹 藤田俊昭
坂井博美 久木留光

堀川美菜海 堀川美幸
(講師)

吉本より子
(縫い物(名札つけ))

貫名照美 菊地重子
橋中朱美 田口初江

(理容)

輪の会のみなさん
(学習支援)

野田美保子 廣谷真也
中光ゆい 川郷菜々海

半田結美 南大林菜里
光成良太 檜田香

三原一輝 大庭あすな
大倉怡実

(個別支援・余暇活動)

廣谷真也 横山富士子
南大林菜里 光成良太

野田美保子
(読み聞かせ)

堀川美幸
(入浴)

野田美保子



6月8日 プラゴン来園 (若草療育園)



7月1日 ズームズームスタジアム ヤクルトvsカーブ (若草園)



6月16日 川上中部保育所との交流保育 (保育)



7月7日 セタ会 (通園部)

行事だより

- 11月12日 面会日
- 11月11日～11月12日 文化祭
- 11月7日 輪の会
- 10月28日 学校懇談日 (高等学校)
- 10月26日～10月28日 修学旅行 第2班
- 10月19日～10月21日 修学旅行 (中学部)
- 10月16日 お月見会 (若草療育園)
- 10月14日 誕生日会 (高等学校)
- 10月12日～10月14日 修学旅行 第1班 (高等学校)
- 10月6日～10月7日 修学旅行 (小学部)
- 10月3日 輪の会
- 9月25日 月見会 (若草園)
- 9月11日 面会日・そうめん流し
- 9月9日 誕生日会
- 9月5日 輪の会
- 9月1日 始業式

行事予定 9月～12月

- 11月18日 誕生日会
- 11月20日 焼き芋パーティー (若草園)
- 12月5日 輪の会
- 12月9日 誕生日会
- 12月11日 面会日・餅つき
- 12月16日 学校懇談日
- 12月22日 終業式
- 12月24日 クリスマス会 (若草園)
- 12月25日 クリスマス会 (若草療育園)

編集後記

本年度初刊に際して、保護者の皆様をはじめとして、各方面から寄稿して頂き、ありがとうございます。

本紙が、これからも発行の歴史を刻んでいくうえで、利用者様とご家族そして読者の皆さんが機関紙「わかくさ」に何を期待しておられるのか、園として今何を発信していく必要があるのかといった原点を忘れることなく、進んでまいりたいと思います。